



ウィズコロナ時代における開発コンサルタントの役割の変化

2021年1月21日

八千代エンジニアリング株式会社
事業統括本部 海外事業部 水資源部 専門課長
渡辺 肇

開発コンサルタントとは？

JICA（国際協力機構）や世界銀行、アジア開発銀行などが行う途上国援助・国際協力において、高度な専門技術と経験を背景に、実際に現地でさまざまな調査や具体的な作業を実施し、中立的な立場から援助プランをひとつひとつ実現していくパートナー。

農業、水資源開発、運輸・交通、防災、鉱工業、エネルギー、保健・医療、教育、経済、行政、社会一般と、途上国援助がおよそ人間の生活と生産のすべての分野にかかわってくるように、コンサルタントの仕事も人間生活のあらゆる領域をカバーする。

出典：一般社団法人海外コンサルタンツ協会

八千代エンジニアリングは何の会社？

- 様々な社会インフラの計画・設計・維持管理を中心としたコンサルティング企業
- 顧客の多くは国土交通省や地方自治体



新型コロナウイルス感染症の拡大による変化

コロナ禍によって これまでも存在した社会課題がより顕在化

経済格差、貧困、ジェンダー、医療や金融サービスへのアクセシビリティ等
元々存在していた開発課題が明確に可視化された。

国際協力の現場では

日本人専門家の渡航がほぼ不可能に



Web会議やローカルパートナーを活用した遠隔による事業実施

- 既に関係が十分に構築され、現地のリソースが充実しているプロジェクトについては、ある程度進めることが可能。
- 新規の関係構築や案件の組成は遠隔での実施が難しく、やや停滞している。
(JICA案件の場合、現状を把握するための調査が仕事の中心となっている)

ビジネス環境の変化

海外渡航が難しい = 売上が上がらない



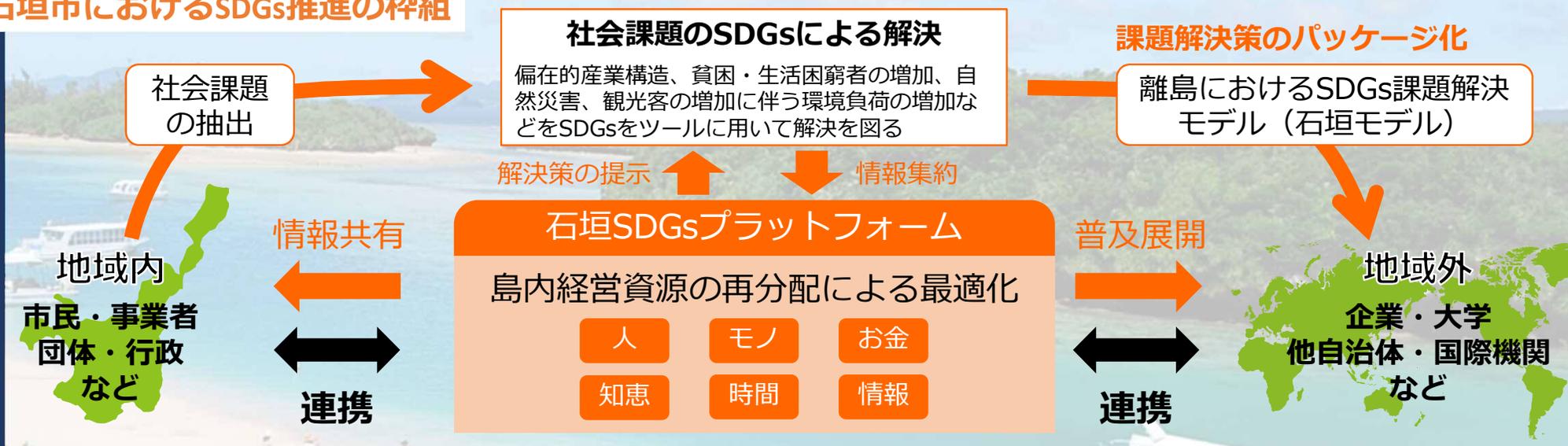
コミュニケーションや解決策のあり方の模索が**加速**

- ローカルパートナーや社内の外国人人材の重要性の再認識
- 国内業務への海外でのアプローチや調査手法の活用
- 民間企業が海外の現場（生産拠点等）で抱える課題へのアプローチ

【事例】国内自治体におけるSDGs推進

- SDGs推進は、様々なサービスを提供する一連の流れに市民社会を巻き込み、全体を変革させること。
- 既存の取り組みは「環境」「経済」と比較し、「社会」へのアプローチが手薄。
- 社会の状況の把握と計画等への取り込みは、開発コンサルタントが国際協力プロジェクトを通じて多く実践している。

石垣市におけるSDGs推進の枠組



【事例】企業の持続可能性を高める包摂的な海外展開支援

- 民間企業の海外展開では、国際機関が行う国際協カプロジェクトと比較して非財務面（特に社会とガバナンス）のフィージビリティ調査を充実させる事が難しい。
- 一方で、地域社会と企業は共に持続可能で、相互に高め合う事が求められている。
- より良い企業活動を実践する環境を構築するノウハウは、国際協力の現場に多く蓄積されている。

これまでのコンサルティング “for client”

地域社会の現状や地元政府の方針・施策などの枠組みの中で、企業が実施可能な解決策を提案する。



これからのコンサルティングのあり方 “with client”

地域社会の現状や地元政府の方針などの背景にある課題を理解し、様々な関係者と共により良い地域社会を実現に向けて進むべき方向性を明確にする。その上で、企業として市民社会を包摂するために実施・実現可能な解決策を提案する。



YACHIYO
Engineering